

Next Steps on UHC: Moving Forward from the G20 and the HLM-UHC

UHC の実現に向けて：G20、UHC に関する国連ハイレベル会合、そしてその先へ

2019年9月24日

共催機関：日本国際交流センター（JCIE）、国連財団（UNF）

会場：国連合同エイズ計画（UNAIDS）ニューヨーク事務所

討議概要 和訳

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）に関する国連ハイレベル会合（HLM-UHC）の翌日、同ハイレベル会合で示された政治的コミットメントをより具体的な行動に移すために必要とされる取組みを探るため、日本、インド、サウジアラビア、タイの政府高官や、多数の国連機関の幹部、有識者等による参加を得て、ラウンドテーブル「UHC の実現に向けて：G20、UHC に関する国連ハイレベル会合、そしてその先へ」を開催した。

ラウンドテーブルは、JCIE シニアフェローの武見敬三参議院議員が議長を務め、加藤勝信厚生労働大臣が特別挨拶を述べた。討議は、日本が議長国を務めている本年の G20 や、第 7 回アフリカ開発会議（TICAD7）などのフォーラムにおける議論と進捗に加えて、タイおよびジョージアが共同ファシリテーターを務めた HLM-UHC、国連日本政府代表部が議長を務めた UHC 有志連合の議論を踏まえて、行われた。

過去数年間にわたり、UHC を首脳レベルの政治課題に押し上げる点では大きな進展が見られたが、2030 年までに UHC を達成するという国際目標を実現するには現状の資金量では不十分である。UHC の実現に向けて、ドナーによる開発援助資金と、低・中所得国自身が動員する国内資金を増加させるためには、さらなる取組みが必要である。UHC 実現に向けた今後の取組みとして、以下の 11 点が挙げられた。

【保健財政】

1) 財務、保健当局間の連携を継続的に後押しする

UHC の前進のためには、保健当局のみならず、財務当局をはじめとする他の政府機関の関与が重要である。G20 史上初めて開催された財務大臣・保健大臣合同セッションなど、財務当局、保健当局間の連携を後押しする動きが見られた。G20 の枠組みでこのような取組みを継続し、各国における連携をさらに後押しするためのインセンティブが創出されることによって、財務当局、保健当局間の連携の機運を維持することが不可欠である。また、世界銀行グループの国際開発協会（IDA）による低利の融資や、グローバル・ファイナンス・ファシリティ（GFF）、そして新たに立ち上げられた「すべての人々の健康な生活と幸福のための国際行動計画（Global Action Plan for Healthy Lives and Wellbeing for All）」は、国レベルにおいて、財務当局、保健当局間の連携を後押しするための有益なツールと言える。

2) 保健支出の効率性を改善する

低・中所得国において UHC を進展させるためには、低・中所得国自身による国内資金の動員と共に、主要ドナーによる開発援助資金が益々必要とされていることは明白である。ラウンドテーブルの参加者は、さらに、その用途における無駄を省き、効率性を改善して、健康改善効果の高い取組みに資金を集める重要性を強調した。重要なことの一つとして、ドナーは、低所得国における保健予算の配分効率を改善するための能力構築を支援する必要がある。これはまた、投資効果が高いとされるプライマリ・ヘルス・ケア（PHC）に対する投資への転換を伴う。また、デジタル・ヘルス・プラットフォームをはじめとするイノベーションの役割に重点を置くことで、費用対効果の高い形で人々の健康を改善できるようになる。

3) 国レベルでのドナー間調整を改善する

近年、ドナー協調に強い焦点が置かれてきたが、一部の参加者はこれが未だ十分でないと主張した。依然としてドナーによる取組みには多くの重複があり、開発パートナーが国主導の共通目標との整合性を高めるためには、さらなる取組みが必要となる。UHC のサービスにおけるドナー間協調を促進するために、ある参加者は、2011 年に第 4 回援助効果向上に関するハイレベル・フォーラムで採択された「釜山宣言」の第 2 弾となるものを策定することを提案した。

4) 疾病別アプローチに対する支援を維持する

参加者は、世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）や米国大統領緊急エイズ救援計画（PEPFAR）、Gavi ワクチン・アライアンスなど、特定の疾患等に対して焦点を絞ったイニシアチブに投資を維持する重要性に賛同した。ただし、これらのイニシアチブ間の連携と、国主体の UHC アプローチへの統合が一層必要である。

【優先分野】

5) UHC の「エントリーポイント」として PHC に焦点を当てる

PHC が UHC を前進させる上での「エントリーポイント」であることについては、参加者の合意するところであったが、さらにそれは、国レベルにおける投資に関わる意思決定にも反映される必要がある。プライマリ・ケアのニーズに対応するためには、政府による保健財政の再評価が必要であり、それはライフコースを通じて確実に成果を出す、最も投資効果の高いアプローチである。また、PHC を改善するためには、健康増進と予防に重点を置き、PHC を提供できる保健医療従事者を増員し続け、妥当な価格の医薬品へのアクセスを改善するさらなる努力が求められる。

6) 最も脆弱な集団を優先する

UHC の進展のためには、比較的サービスを届けやすい集団ではなく、現時点で保健サービスへのアクセスがない人々を最優先する必要性についても概ね合意を得られた。すなわち、サービスを届けるために多額の費用を要するとしても、社会的に疎外される集団にまで

PHC を届けることが最も重要であることを政治家に理解してもらい、彼らを最優先に据えなければならないということである。感染症は、貧困層や遠隔地域では気付かれない内に蔓延する危険性が高く、また、最も脆弱な人々は疾病の罹患によって財政的にも困難な状況に陥る傾向がある。故に、こういった人々に UHC を拡大することで、社会全体の健康が大幅に改善される。

7) 財政的保護への取り組みを強化する

近年、保健サービスの普及においてはかなり進捗があったが、財政的保護の指標は悪化の一途を辿っている。保健サービスへのアクセスを妨げ、持続可能な開発目標（SDGs）全体の進捗にも悪影響を及ぼしており、国際保健のコミュニティは、財政的保護に向けた道筋を考案することが重要である。保健分野に対する公的予算の増加を奨励する戦略として、自己負担割合を医療費全体の 20% 以下に制限する国際目標を実行することが提案された。

8) 脆弱層に照準を当てる

多くの参加者は、国際保健コミュニティは、通常の開発支援モデルとは異なるモデルを使い、不安定な環境や紛争地域を優先することが重要であると主張した。社会的に疎外された地域や脆弱層にサービスを行き届けることは、感染症対策を促進し、公正と連帯を前進させる上で重要である。新たな技術を活用することによって、こうした取り組みを益々効果的に行うことができる。そして、ドナー間の協調を進めることで、こうした脆弱層をより効率的にターゲットとする共同投資の戦略を生み出すことができる。

【アプローチ】

9) UHC に対する政治的支持を深化させる

詰まるところ、UHC は政治的な選択であり、支出としてではなく、健全で豊かな社会への投資として位置付けていくことが不可欠である。G20 および HLM-UHC で提示されたコミットメントに対する説明責任を確保するため、地方、国、国際的なレベルでの政策決定者による政治的支持を引き続き醸成し、深化させる必要がある。特に、G20 は UHC を最も高いレベルで支援し続けるべきであり、国レベルで UHC を前進させるために必要な法的環境および財政状況を確保するために、政治家はより強力に関与しなければならない。

10) 地方レベルに焦点を移す

UHC を支える公平性の課題を効果的に推進するためには、地方レベルの取り組みに集中することが重要である。国レベルでの保健指標は時として重大な国内格差を反映していないことがある。データ技術は、都市のスラム街や、疎外された人々、難民、避難民など、最も脆弱で、適切な保健サービスを受けていない集団をリアルタイムで特定し、保健システムに包含させるためにさらに活用され得る。

11) 市民の幅広い参画を推進する

多数の参加者が、UHC の推進のためには、国レベルでは保健当局や財務当局の枠を超えて、

より多様な関係者を巻き込むことが重要であることを指摘した。特に、UHC 運動への市民の積極的な関与は不可欠であり、そのためには、コミュニケーションの改善と慎重な発信が必要となる。健康増進と予防戦略の推進に加え、より多くの国民参加が UHC に対する政治的支持の基盤を固め、課題に対する国のオーナーシップを強化し、政治家に対して UHC を推進する PHC やその他の分野により多くを投資することが政治的に不可欠であることを確信させるべきである。

参加者は、UHC を推進するリーダーシップを発揮した日本ならびにタイおよびジョージア政府を称賛した。こうした国々の政府がこの課題を主導していくよう奨励し、さらに、サウジアラビア政府に対しては 2020 年の G20 プロセスにおいて UHC を優先事項にするよう強く求めた。また、今後、UHC 達成の取組みを一層進める上で、2020 年 1 月にタイで開催される UHC フォーラム／マヒドン皇太子賞会議、同年 12 月に日本で開催される成長のための栄養サミット、そしてサウジアラビアで開催される G20 サミット等のマイルストーンが確認された。

なお、本討議概要は[英文](#)を正文としており、日本語はその和訳である。